はつかいち環境講座

第４回　里山の植物調べ

2026年11月15日（日）10:00～12:00　おおの自然観察の森

廿日市市の市街地や里の背後に広がる森はほとんどが里山です。里山を観察しながら、里山の成り立ちと植物の生き方を学びます。

１　おおの自然観察の森はどのような施設でしょうか

■おおの自然観察の森は、大野町にある市の施設です。
■里山環境の保護、保全、育成を目的に開設されています。
■園内には広島県の天然記念物であるベニマンサクの群落があります。例年、10 月下旬には、右の写真のように葉が赤く色づきます。



10 月下旬のベニマンサク

２　里山はどのようにしてできたのでしょうか。

■廿日市市の森林はほとんどが里山です。
■里山はかつて私たちの生活を支えてきた山です。
■おおの自然観察の森には里山としてアカマツ林が広がっています。
■アカマツ林を観察し、里山の過去と現在を考えます。



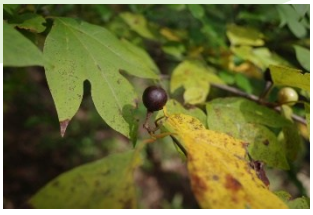
３　里山にはどのような植物が生え、どのような特徴があるでしょうか

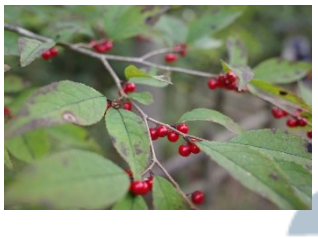
■里山の樹木を観察しながら、特徴を解説します。
■ため池の上流にある湿地の植物も観察します。











問い合わせ先：廿日市市環境共生課（0829-30-9224）